

2021年度 健生保育園 事業計画書

はじめに2021年度の事業計画の策定にあたり年度計画の実施に大きな影響を与えると想定される新型コロナウイルスについては前提として【新型コロナウイルス感染防止対策】として厚生労働省・自治体・関係各所の通達および各種ガイドラインを基に感染防止対策に細心の注意を払い衛生的な保育環境にて保育を提供してまいります。尚、感染防止対策として各種行事・研修・面談・その他において必要に応じて、規模の縮小・中止・Webまたは電話形式への変更など、感染対策を優先しつつ様々な対応を講じる必要がある事を想定し園運営および保育の実践に努めてまいります。

1. 保育の概要

(1) 所在地 愛知県名古屋市緑区神沢2丁目1408番地

(2) 定員 2021年4月1日

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	3	4	5	6	6	6	30
現定員	3	4	5	6	6	7	31

(3) 職員数 2021年4月1日

施設長	主任保育士	保育士	給食職員	事務	その他
1	1	9	2	1	0

(4) 嘱託医

小児科：神沢クリニック 鈴木真砂 医師 名古屋市緑区神沢1丁目2007
歯科：いわみ歯科 岩味潤 医師 名古屋市緑区篠の風2-421-1

2. 保育方針

(1) 保育理念

時代や社会環境が変わろうとも、①健やかな発達と健康 ②しつけ ③教育 の3つは子どもの成長において、変わらず大切な核を成す要素となっています。園生活において、子どもたちとの関わりの中で、この3つの要素を中心に集団生活の中で適切に分かりやすく丁寧に繰り返し指導し地道な育成に取り組んでいきます。

(2) 保育方針

- 自由な発想を生かし創意工夫のしつけ・教育を行います！
- 脳科学の観点から早期の育成に取り組みます！
- 安全な運動指導で体と脳の健やかな発達と健康を促します！（遊び・安全な運動指導で身体と脳の発達）

(3) 保育目標

- 豊かな感性（感情）と創造力を養う
- 健康な身体（からだ）作り
- 優しさと思いやりを育む
- 笑顔（笑い）
- 忍耐力と行動力を身につける
- 『見て・聞いて・感じて』行動す

以上の理念・方針・目標に基づいて、2021年度の保育課程・年間指導計画・月間指導計画・週間指導計画・日案・食育計画・保健計画を作成して実施し、評価・反省を行なっていく。

3. 年間の開所日および開所時間

(1) 開園日 日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)の休園日以外

(2) 開所時間 7:30～19:30

★短時間は8:00～16:00 / 標準は7:30～18:30 / 延長は18:30～19:30

(短時間の延長は8:00～16:00の前後)

4. 特別保育事業

- ・延長保育事業
- ・障害児保育事業
- ・地域交地域の防災機関との交流(緑消防署見学等)
- ・障害児施設との交流地域の防災機関との交流
- ・高齢者との地域交流(予定)
- ・地域の中学校との交流(神沢中学職場体験受け入れ予定)
- ・園庭開放(随時、実施)
- ・保育園養成校 実習生受け入れ(2名予定)
- ・保育園 ボランティア受け入れ(予定)

5. 健康・安全・衛生管理

健康管理

- (1) 児童の健康診断(6月、11月予定 年2回)
- (2) 児童の歯科検診(6月1日年1回)
- (3) 児童の身体測定(毎月1回)
- (4) 職員の健康診断(年1回)
- (5) 職員の検便(年に2回の職員と、毎月1回の職員)
- (6) 年間保健計画の作成
- (7) 新型コロナウイルス感染対策週末に、消毒液を散布

安全管理

- (1) 防災計画の作成
- (2) 避難訓練の実施(毎月1回)
- (3) 保護者の緊急連絡先の登録(メールアドレス登録)
- (4) 非常用の飲み水・食物の確保
- (5) 緊急通報装置の設置(ALSOC)
- (6) SIDS対応訓練(不定期)
- (7) 不審者対応訓練(不定期)
- (8) 防犯訓練(緑警察署)

衛生管理

- (1) 感染症対策マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。
- (2) 新型コロナウイルス対策

※前年度から引き継ぐ

- ・全職員マスクを着用のうえ保育を行う
- ・全施設の門扉も横に消毒水を設置
- ・職員の検温を1日2回実施(出勤時、12:00 15:00)
- ・週に一度園内を塩素消毒にて清掃、アルコール消毒
- ・アルコール、マスクの確保
- ・園への訪問者の体温検査を実施
- ・保護者へメールで注意喚起、コロナウイルス対策等の文面を通達

6. 食に対する取り組み

- (1) 年間食育計画に基づいた取り組み
- (2) 食育衛生管理マニュアルに基づいた対応
- (3) アレルギー対応
- (4) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食の提供
- (5) 園の畑から、野菜を収穫し給食にて提供
- (6) 栄養士による食育学習を行う

7. 年間行事予定

月	行事内容
4月	防災訓練
	入園式
5月	防災訓練
	遠足（3.5公園 2近隣散歩）※消防署見学（4歳児）
6月	不審者対応訓練
	園外学習（水族館：5歳児）
	歯科検診
	健康診断
	運動会（6月9日（水）緑スポーツセンター）
	防災訓練
7月	防災訓練
	水遊び・プール
	農業体験
	園外学習（プラネタリウム：5歳児）
8月	防災訓練
	水遊び・プール
	作品展予定（8月末～9月初旬）
9月	作品展予定（8月末～9月初旬）
	防災訓練
	遠足
10月	防災訓練
	農業体験（2歳児以上）
	ハロウィンパーティー
	歯科指導
11月	防災訓練
	健康診断
	不審者対応訓練
12月	防災訓練
	クリスマス会
	年度末休み（12月29日～1月3日）
1月	年度末休み（12月29日～1月3日）
	乳幼児突然死症候群（SIDS）対応訓練
	防災訓練
	中学生職場体験受け入れ 神沢中学
2月	防災訓練
	節分
3月	防災訓練
	ひな祭り会
	くまのこ会・卒園式

※新型コロナウイルス感染症・緊急事態宣言等にて行事内容の変更・中止の可能性あり

8. 定例行事

- ・毎日：職員ミーティング
- ・毎週：体育指導・英語指導
- ・毎月：身体測定・防災訓練
- ・不定期：SIDS 対応訓練・不審者対応訓練・運営委員会
- ・その他：園外学習・運動会・くまのこ会・入園式・卒園式・季節行事
- ・年に2回開催 1回目（7月～8月） 2回目（2月～3月）：保護者と個人面談

園便り類の発行

- ・園だより毎月発行（前月の月末配信）
- ・クラスだより毎月発行（前月の月末配信）
- ・保健だより（前月の月末配信）
- ・食育だより（前月の月末配信）
- ・献立表（離乳食・幼児）（前月の月末配信）

9. 職員の資質向上

- (1) 園内研修は年に4回予定、期ごとに行なう。（研修後、報告書を提出）
- (2) 園外研修は名古屋市保育運営課研修及びその他の研修（研修後、報告書を提出）
※新型コロナウイルス感染の為随時申し込み。
- (3) 保育アドバイザーによる評価

10. 苦情等の受付

- (1) 苦情に適切に対応して利用者の満足度を高め、利用者が適切に利用できるよう支援して行くことを行なうために、以下の相談窓口を設けた（全園児の重要事項説明書に記載）。また、園の玄関口に苦情申し立て窓口に関するポスターなどを掲示していく。

当園苦情相談窓口	苦情解決責任者 園長・法人 苦情受付担当者 園長
名古屋市社会福祉協議会 福祉サービス苦情相談センター	名古屋市北区清水四丁目17番1号 電話 052-910-7976 FAX 052-910-7977 <受付> 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝・年末年始を除く)

- (2) 2021年度末に苦情受付対応件数の人数の集計を行なう。
- (3) 第三者評価実施（日程未定）

11. 情報公開

- (1) 健生保育園ホームページにて定期更新により、実施されている保育内容や保護者アンケートの集計結果等に関する情報の透明性の確保に努める。
- (2) 保育園ホームページにて直近月に苦情があった場合は情報を公開する。

12. 資金計画について

保育園運営のための通常経費は、名古屋市より給付される委託費（公定価格）・名古屋市補給金等、利用者実費徴収分等の保育所運営費収入等でまかなう。

13. その他

(1) 設備等関係（修繕、購入予定）

- ・エアコンの買い替え（プラズマクラスター付き）
- ・園庭の砂を入れ替え
- ・机にコロナウイルス対策の仕切りを作成

課題解決に向けた取り組み

(1) 『発達に課題のある子どもへの支援の強化』

《重点課題》

現状と課題	・ 健生保育園では、年々発達に課題のある子どもが増えてきている。一人ひとりの育ちを把握し、適切な支援をできるように、保育園全体で考え職員、保護者、行政等と共通理解を深め取り組んでいく必要がある。
取り組み方	・ 発達に課題のある子どもについて、同法人の発達支援室、『健生神沢こども発達支援室』と連携を取り、保育所、発達支援室とで利用者の現在の状態や小学校への接続等 ・ 保護者と密に連携を取り支援を進めていく。
実行計画	・ 発達の課題のある子どもの個別計画を作成し、保護者と面談を行う（年2回 要請があれば随時） ・ 支援に関する外部研修へ参加し理解を深める。（年1回） ・ 支援に関する内部研修を開催し理解を深める。（年1回）

《保育士の専門性の強化と保育内容の充実》

現状と課題	・ 年々少子化が進み、保護者が保育所を選ぶ時代になりつつある今、特色のある保育は必要不可欠である。 健生保育園では、『少人数制を生かした丁寧な保育』を最大限の特色として保護者が選ぶ重要な要素の一つであると考えられる。連携園の企業主導型保育事業『健生ナーサリー』、『健生キッズベア』との交流を生かして少人数制の保育、集団での保育の両方が行える環境づくりをしていく必要がある。 そのためには、保育の計画の中で『他園の子ども同士の交流』や『他園の保育士同士の交流』を取り入れお互いに保育を振り返り意見交換をしていく機会を増やしていき、さらに専門的な指導、保育の内容向上に役立てていきたい。 ・ 保護者との連携を図るため、保護者の抱える問題や現状を理解し、個々に対応しながらおたより帳や複写式ノートの書き方、保護者に対しての話し方、口調等についても高めていく必要がある。
取り組み方	・ 保育士が広い視野を持ち、保育内容の向上を図るために専門的な指導、外部研修を受ける。 ・ 保護者との信頼関係を深めるために、言葉使い、口調、ノートの書き方等専門性を高める。 ・ 交流保育の利点を生かして、主活動や自由遊びの時間で交流を図っていく。
実行計画	・ 保育計画の見直し、必要な項目や追記事項があれば随時更新をする。 ・ 合同保育時の意見交換や振り返りを行う。（年1回年末予定） ・ 作品展等の園行事で合同作成を予定し、他児との交流を深めていく。 ・ 保育士（職員）の自己評価採点をして自分たちを振り返る。

《危機管理意識の強化》

現状と課題	・ 危機管理研修や防犯訓練を通して職員の危機管理の向上を図っている。しかし、児童、保護者が安心して生活ができ、様々な分野においてさらに職員の意識を高めていく必要がある。 また、連携園との情報共有やコミュニケーションを密にとり危機管理の差が出ないように注意する。 ・ 名古屋市からの緊急情報等を保護者にもメールや紙面で連絡をする。
取り組み方	・ 危機管理について、様々な研修、訓練を行い災害や、防犯、事故等に対応できるように職員に周知するとともに、保護者にも近隣等の情報を共有する。

実行計画	<ul style="list-style-type: none">・災害時の対応（地震や台風等）の際の確認を行う。職員が目安を確認し保護者等への対応が行えるようにする。（年1回）・メール配信のテストを実施し、メールアドレスの確認と受診できているかの確認を行う（年1回）・不審者訓練対応訓練を行う。（年2回）・緊急蘇生法、SIDS 訓練を行い、知識や経験を深めていく。（年2回）
------	--